

10月24日 竹ちぐら・ベンチを製作しました

前日までの雨で天気がどうなるかと心配しましたが、イベント当日の24日は(誰かの?)日頃の行いが功を奏したのか、少し肌寒いものの仕事するにはちょうど良い気温の青空。総勢33名(+子供さん5名)がテラスに集結、竹ちぐら1個+山羊ちぐら1個、ベンチ3脚を作り上げました\(^o^)/

ベンチはベンチ枠に2×4材にペンキを塗ってビスで留める方法で比較的簡単に製作出来ました。

竹ちぐらは計画上では3個製作予定でしたが、今回は大小1個ずつの2個を製作。小は「山羊ちぐら」と名付けまして東北工業大学の菊地教授と学生さんで作り上げていただきました。

大の竹ちぐらは会員と助っ人で駆けつけていただいた方々の協力で直径3メートルの大きさのものを作成。試作した竹ちぐらとは雲泥の差の出来栄え、完成の時は思わず拍手\(^o^)/ご協力いただいた会員の皆さん、駆けつけていただいた応援の皆さん、ご協力有難うございました。

次の計画はもう一個の竹ちぐら制作と、ラベンダー畑の造成です。皆さんの協力をお願いします。



完成した竹ちぐらにベンチを入れて記念撮影



後方は試作品

工大生による山羊ちぐらの製作



竹ちぐらの概観



遮光率60%?

山羊ちぐらとベンチ



3人サイズのベンチ

2人サイズのベンチと山羊ちぐら

○遮蔽率の問題

あまり遮光率を高くすると、安全上問題があるということで、今回は60%としましたが、果たしてどの位がいいのかはこれからの検討課題。

○強度の問題

杭を15本打ち込んでその上に組み上げましたので風に対する強度は大丈夫と思われます。また耐荷重も大人がぶら下がっても大丈夫な頑丈さ(実際にぶら下がりはしませんでした(^^ゞ)

○親子

親子で参加:良い時間を過ごしていただいた。

○食料調達

部長から局長に格上げになりました。全部美味しかったです。食料部の皆さんに感謝。



○資材準備

縛り紐が足りなくなって製作途中でホームセンターに買いに走っていただきました。おおよその検討(つまり適当に?)で準備したのですが、今回の製作でボリュームが分かりましたので次回製作では大丈夫(だと思えます(^^ゞ)

○適当という正解

今回の製作で「適当に」という言葉が大いに役立ちました。正解があるわけではないものに対して「適当に」という自己判断でやることの大事さが身に沁みました。

朝のミーティング 安全第一でやりましょう



みんなが参加(させられました(^^A)

直径3メートルでベースの杭を打つ



親から子へ技の伝授





皆さんがそれぞれの役割を自分で見つけて自主的に作っていただきました(自主性・適当が愛護協力会のモットーです)



完成まじか



完成品と記念写真



和気あいあいの食事風景(美味しかったです)



参加した子供たちの風景

